

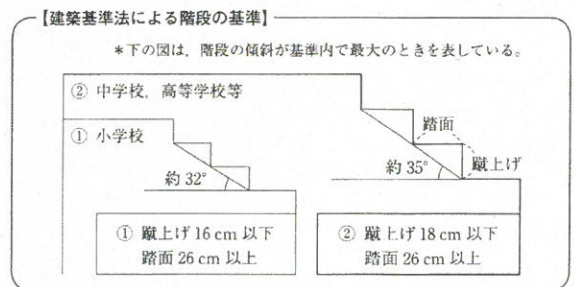


論理的思考力を鍛えよう!

今、みんなに求められている力の一つに論理的思考力があります。論理的思考力とは、物事の因果関係を整理し順序立てて考えること、あるいは分かりやすく説明することを指し、ロジカル・シンキングとも呼ばれています。では、なぜ論理的思考力が求められているのかといえば、その力がないと正しく物事を理解し、課題を解決することができないからです。さらに、みんなにとってより切実な問題としては、2年後に受けることになる大学入学共通テストにおいて、この論理的思考力を試される問題が数多く出題されることになるからです。

先月10日、11日の2日間にわたり、大学入学共通テストの試行調査が行われました。その問題全体は大学入試センターのHPで確認することが出来ますが、その中から一つ数I・Aの記述問題を紹介したいと思います。

高等学校の階段では、^{けあ}蹴上げが18cm以下、^{ふみづら}踏面が26cm以上となっており、この基準では、傾斜は最大で約 35° である。階段の傾斜をちょうど 33° とするとき、蹴上げを18cm以下にするためには、踏面をどのような範囲に設定すれば良いか。踏面を x cmとして、 x の取り得る値の範囲を求めるための不等式を、 33° の三角比と x を用いて表せ。 ※問題文より抄録



この問題を解く鍵はズバリ「論理的思考力」です。即ち問題文の意図するところを理解し、身につけた知識をどう使うのが求められています。このような問題を確実に解けるようにするためにも、日頃から論理的思考力を鍛える訓練を積むことが必要不可欠です。具体的には数学と国語の勉強に力を入れることが最も近道であると元外務省主任分析官の佐藤優氏も述べています。ぜひ参考にしてみてください。

参考：東洋経済 ON・LINE <https://toyokeizai.net/articles/-/14298>

【12月の予定から】

○年末の交通事故防止県民運動 (1日～31日)

12月に入り年間でも最も日が短い時期となりました。また、師走ともいわれるように年末を迎え何かと慌ただしい時期でもあります。こんな時は特に交通安全に対する意識を高めることが重要です。具体的には

*夕暮れ時は早めにライトを点灯する。

*制服や防寒着の色は暗く、自動車から気づきにくいものが多い。反射材などを活用し、自分の存在を周囲に知らせる。

*横断歩行中の重大事故が多発していること、また、その多くが夜間に発生していることに注目し、必ず左右の安全を確認してから横断する。

以上のことを心掛け、自分の身は自分で守るようにしましょう。

○進路ガイダンス学問編 (14日)

国際関係、経営、教育、人文、工、理、薬、医、看護、など14の分野から大学の先生をお招きし、各自の進路希望にそった、あるいは興味・関心のある分野の講演を聴きます。大学で学ぶ学問の一端に触れることが出来る貴重な機会です。まだ自分の将来の目標が定まってない人は、これを機に自分が将来大学で何を学びたいのか、また学んだことを元にどんな仕事をしていきたいのかについて考える機会としてみてください。

○音楽発表会 (25日)

1年次生の音楽I選択者から募集した約60名と2・3年次生の音楽大学、教育学部音楽専攻受験希望者、音楽部員、吹奏楽部員、箏曲部員による発表会が行われます。クリスマスの一時、仲間たちの発表に耳を傾けてみてください。



保護者のみなさまへ

12月25日(火)に第14回甲府西高音楽発表会が開催されます。この行事は音楽系専門学科への進学を希望する生徒や芸術科音楽選択者に発表の機会を与える目的ではじまりました。今年は1年次生の音楽I選択者から募集した生徒約60名、2・3年次生の音楽大学などへの進学希望者(8名)、音楽部員、吹奏楽部員、箏曲部員による発表会が行われます。本校の卒業生には芸大へ進学した生徒も多数おり、毎年とてもレベルの高い発表会となっております。年末のお忙しい時期ではありますが、ぜひご覧いただければと思います。

14:30開場 15:00開演 17:00終演予定 会場：本校鳳凰館1階ホール です。

【12月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	土		17	月	B きすなの日
2	日		18	火	A
3	月	B きすなの日、登校時指導(～7日)健康調査開始	19	水	A
4	火	B フードドライブキャンペーン	20	木	B
5	水	B フードドライブキャンペーン	21	金	B
6	木	B バイク免許所有者集会	22	土	
7	金	B	23	日	天皇誕生日
8	土		24	月	振替休日
9	日		25	火	行 休業前集会、大掃除、音楽発表会
10	月	A ※2年次生修学旅行(～13日)	26	水	冬季休業開始(～1/7)
11	火	A	27	木	
12	水	A	28	金	
13	木	A	29	土	校内完全閉鎖(～1/3)
14	金	A キャリアガイダンス進学編	30	日	
15	土	土曜講座(1.2年共通講座)	31	月	
16	日				

【先生方からの寄稿】

今回は3組の担任・副担任の先生方です。

「甲府西高で学ぶ」

3組担任 砂田 英俊

1年生の皆さんとは今年は担当する授業もないため、関わる機会も少ないですが、3組の担任として過ごし、ここまで月日が経ちました。2・3年生の生徒の授業を受け持って、この学校には意欲を持って学ぶ生徒がたくさんいると感じています。将来行きたい大学、勉強したい分野を持つ人たちはその目標に向かって頑張れるものだと思います。

私は大学を卒業した春から、学校に勤め、10年以上経過しました。人生ずっと学校に通っていることになります。多くの人が卒業する高校は1校ですが、私は自分が通った以外の普通高校、職業高校や総合制高校といろいろな学校に勤めることができ、多くのことを学んで来られたことがとても楽しかったです。どの学校にも長年にわたって築かれた伝統や特徴があり、日々の生活を共に過ごす中で、生徒たちから学ぶこともたくさんありました。

今年甲府西高に来て、伝統あるすばらしい学校だなと感じることがたくさんあります。廊下のあちこちに絵画や書が飾られていたり、レベルの高い鳳凰祭、生徒の活躍、さまざまな文化部の活動など、そういったことに接して、文化の水準の高い中に学べるという環境は他校に負けないものではないかと思いました。むしろ皆さんには全てが当たり前になっているのかもしれないです。たくさんのお木々があり、秋にはキンモクセイが香り、緑も豊かです。

生徒たちの多くが、「甲府西高で頑張りたい」と思い、県内各地から入学してきていることから、たくさんのお課題にも、小テストにも意欲的に取り組む姿勢には日々感心しています。周りの影響というものも大きいです。学習する雰囲気は自然と生まれていることはいいことです。私も皆さんから意欲的に学ぶ大切さを教えてもらっています。だからこそ、皆さんが志望校に合格、また憧れの職業に就き、国内外で活躍してくれることを祈っていますし、少しでもそれを応援していけるように努めていかなければと思っています。

「センター試験と私」

3組副担 平岩 岳実

私は西高に勤務してからの13年間、大学入試センター試験を毎年受験しています。今年も1月13、14日に山梨学院大学で、昨年度卒業した西高の生徒と一緒に「数学ⅠA」「数学ⅡB」と「英語」を受けてきました。

Q. こんな「おっちゃん(45歳)」がセンター試験を受けられるの？

A. 大学入試センター試験は高校卒業資格があれば、誰でも受験できます。

Q. どうしてセンター試験を受けるの？

A. 西高に勤務して1年目か2年目のとき、「偉そうに数学を教えているけど、本番の試験でホントに自分で解けるのか？」と自分自身思ったのがきっかけです。

Q. 「数学」を受けるのはわかるけど、なぜ「英語」を受けるの？

A. センター試験の申込時に「2教科以下受験」と「3教科以上受験」が選べます。私の能力的に「3教科以上受験」にすると手に負えないので、「2教科以下受験」とし、今後に役立つので「英語」を受験しています。

Q. 受験した結果(得点)は？

A. 今年の結果は「数学ⅠA…86点」「数学ⅡB…100点」「英語…92点(200点満点)」でした。数学はいつも満点を取るつもりでいますが、今年是不本意でした。英語は大体こんなものです。

Q. 今年度(来年)も受験するの？

A. 10月初旬に申し込み済みです。数学は授業をやっていれば問題ないです。英語は単語力がないとどうしようもないので、毎日少しずつ英単語帳を開くよう心掛けています。こんな感じで、おっちゃん(私)のセンター試験挑戦はまだまだ続く。